



各 位

2021年5月14日

会社名 東京製綱株式会社
代表者名 取締役社長 浅野正也
(コード番号 5981 東証第1部)
問合せ先 専務取締役執行役員 佐藤 和規
(TEL. 03-6366-7777)

2021年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異、
特別損失(個別)の計上並びに個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

2021年3月期(2020年4月1日~2021年3月31日)において、本年2月10日に公表した2021年3月期の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたこと、また通期個別業績において特別損失の計上並びに前期実績値との差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 純利益
前回発表予想(A) (2021年2月10日発表)	百万円 58,000	百万円 200	百万円 100	百万円 200	円 銭 12.41
実績(B)	59,183	700	209	408	25.33
増減額(B-A)	1,183	500	109	208	—
増減率(%)	2.0%	250.0%	109.0%	104.0%	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	百万円 63,090	百万円 319	百万円 446	百万円 △2,434	円 銭 △151.11

【差異が生じた理由】

第4四半期において、開発製品関連セグメントの国内防災工事などが想定以上に進捗したこと、また、鋼索鋼線関連セグメントで、高付加価値製品の売上が増加したことなどにより、売上、利益ともに前回予想を上回りました。

2. 特別損失の計上について（個別）

当社連結子会社である東京製綱インターナショナル株式会社は、新型コロナウイルス感染症の影響で海外の防災関連子会社の受注や送電線プロジェクトの進捗などで大きく制約を受けた結果、純資産価値が低下しております。これにより、当社は当事業年度において保有する同社株式について4,956百万円の関係会社株式評価損を特別損失として計上しております。

なお、当該関係会社株式評価損は連結決算上消去されるため、連結業績への影響はありません。

3. 2021年3月期通期個別業績と前期実績値との差異（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期（2020年3月期） 実績（A）	百万円 38,315	百万円 1,199	百万円 2,281	百万円 △1,946	円 銭 △120.80
当期（2021年3月期） 実績（B）	37,122	720	1,330	△3,268	△202.88
増減額（B－A）	△1,193	△479	△951	△1,321	—
増減率（%）	△3.12%	△39.94%	△41.68%	—	—

【差異が生じた理由】

売上高、営業利益及び経常利益につきましては、前期に対して、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、減収減益となりました。これに加え、当期純利益につきましては、上記2の関係会社株式評価損を特別損失に計上したため、前期実績を大幅に下回る結果となりました。

以 上